

2014 年第 3 回日本地球化学会評議員会 議事録

日時:2014 年 9 月 15 日(月・祝)14:00-18:00

場所:富山大学五福キャンパス 共通教育棟 E 会場

出席者:川幡会長、山本副会長、野尻副会長(15:30~)、山岡、南、石橋、折橋、益田、佐野、鈴木、大河内(15:00~)、小畑、角皆、寺田、奈良岡、日高、藪田の各評議員、オブザーバーとして小木曾編集長、高橋 TF リーダー(~15:30)、清水監事

欠席者:鍵、原田、塚本、岩森、川口、平田の各評議員

## 1. 審議事項

### 1.1. 第 2 回評議員会(メール会議)議事録の承認

### 1.2. 鳥居基金について

- ・重複受給禁止条項の廃止について、第 2 回評議員会メール審議を行ったところ、賛否が拮抗した。そのため、鳥居基金選考委員会で再度話し合いを行い、当面現状維持とする提案があった。評議員会での議論の結果、あと約 3 年で使い切りの見込みだが、現状維持のまま運用することとした。
- ・会員から、鳥居基金の発端や意義について、学会 HP に掲載したらどうかという意見があった。評議員会での議論の結果、鳥居先生の追悼記事を、顔写真入りで学会 HP に掲載することとした。

### 1.3. 総会配付資料の承認

### 1.4. 会長からの提案

- ・逝去された会員について、年会で黙祷することが提案され、承認された。
- ・長く会員だった人の表彰制度をつくってはどうかという提案があり、功労賞や永年会員等について今後検討することとなった。
- ・GJ 編集長に GJ 科研費から給料を出したほうが良いのではないかと提案があった。これに対し、アルバイト雇用等で支援したほうが良い等の意見が出され、今後検討することとなった。

## 2. 報告事項等

### 2.1. 庶務

#### 2.1.1. メール審議・調査

- (1) フォトンファクトリーに関する要望書の承認(7/2)
- (2) 2014 年度名誉会員推薦の手続きの承認(7/3)
- (3) 日中フォーラムの要旨印刷費用の承認(8/27)

#### 2.1.2. 名誉会員の選出

- ・3 名の名誉会員候補者について、7/25 を締切として評議員によるウェブ投票を行い、有効投票者 17 名全員の賛成が得られた。総会で提案され、承認を受ける見通しである。

#### 2.1.3. 鳥居基金

- ・H26 後期は、海外渡航 3 件、国内集会 1 件の応募があった。鳥居基金選考委員会にて、9 月末を目処に選考中である。

#### 2.1.4. GJ 科研費

- ・H26 年度の交付決定額は 370 万円であり、7 月に前期分(290 万円)の振込があった。

#### 2.1.5. 広告

- ・12 月に各企業に請求書を送付予定である。

#### 2.1.6. 年会準備関係

- ・学会各賞のメダル・賞状、名誉会員証の納品済み。
- ・名誉会員への招待状発送済み。

#### 2.1.7. 協賛・共催等の予定

[協賛] 日本地熱学会平成 26 年学術講演会(主催:日本地熱学会、2014 年 10 月 29-11 月 1 日、弘前大学創立 50 周年記念会館)

[協賛] 日本腐植物質学会第30会講演会(主催:日本腐植物質学会、2014年11月22-23日、日本大学生物資源科学部 藤沢キャンパス)

2.1.8. 各種表彰の推薦

- ・第18回尾瀬賞(8/31 締切)
- ・第36回沖縄研究奨励賞(9/2 締切、応募無し)

2.1.9. 会員ご逝去

- ・木越邦彦名誉会員

MLで会員に周知した。9/27に行われる偲ぶ会に生花をお送りする予定である。

2.1.10. その他

- ・9/2に行われた日本化学連合の会長会に、野尻副会長が出席した。
- ・2014年日本地学オリンピックの問題作成者を会員から推薦した。

2.2. GJ

2.2.1. 発行・編集状況

2014年vol.48, No.4が、7月に発行された。No.5は印刷中である。8月1日現在の投稿数は373報、うち受理123、却下178、審査中67、AE選考中0、取り下げ5となっている。特集号は、Goldschmidt 2013特集号、海底鉱物資源の特集号、およびGoldschmidt 2014特集号を予定している。

2.2.2. その他

- ・幹事・評議員は積極的にGoldschmidt 2015のコンビーナーになり、GJ特集号を企画してほしい。
- ・インパクトファクターが1.94に上昇した。
- ・Papers in pressのウェブ掲載が開始した。

2.3. 和文誌「地球化学」

2.3.1. 「地球化学」の活性化について

企画総説のカテゴリー増設や特集号の増加について、年会での編集委員会で議論する予定である。評議員会での議論により、年間出版冊数を含む雑誌の方向性について出版WGで議論し、来年の総会までに意見を集約することとなった。

2.3.2. 発刊予定と編集状況

Vol.48, No.3を2014年9月末、No.4を12月末に発行予定。編集状況は、受理済0報、査読中10報(報文3、総説2、企画総説2、特集号3、受賞記念論文1)、依頼中12報(企画総説2、総説1、受賞記念論文7、特集号2)となっている。

2.4. 企画

2.4.1. 2014年度年会について

準備が完了し、富山LOCの堀川恵司会員より報告がなされた。

2.4.2. 2015年度年会について

2015年9月16-18日に、横浜国立大学において開催予定である。LOCの津野宏会員より、準備状況について報告がなされた。公開講演会は科研費申請に向けて準備を始めることとした。

2.4.3. 2016年度年会について

2016年9月に名古屋・京都・大阪市立大の共同開催で承認された。

2.5. 広報

2.5.1. 講師派遣事業について

講師派遣費用の援助について、第2回幹事会ならびに評議員会での議論の結果、学会の一般財源からの支出は困難であるとの結論に達した。従って、ウェブサイトの文章を「講師の交通費は原則依頼者の負担」と改訂し、年会剰余金からの補填で運用を行うこととした。平成26年度の派遣実績は、18件(実施済2件、調整中16件)である。

2.5.2. JpGU

- ・地球化学ニュースに報告を掲載予定である。

2.5.3. ゴールドシュミット 2014

- ・地球化学ニュースに報告を掲載予定である。

2.5.4. 2014 富山年会

6月6日に年会ウェブサイトを開示した。ニュースレターにも年会・ショートコースの案内を掲載した。年会プレスリリース用のハイライト講演の選定や原稿執筆依頼を依頼中である。

2.5.5. ニュース配信

- ・メールアドレスが変更になった場合、会員情報の修正だけではすぐにMLに反映されない。
- ・容量制限があるため、できるだけ短く収めていただきたい。

2.6. 会計

2013 年度決算、2014 年度中間報告、2015 年度予算案が示された。

2.7. 会員

- ・8 月 31 日現在の会員数は、計 953 名であり、昨年比-2 名、一昨年比-16 名である。
- ・学生発表賞対象者は入会申込が必須であり、会費未納にならないよう注意することが確認された。

2.8. GC

- ・第 6 回委員会(6/28)を開催し、日程案を承諾した。
- ・組織委員会・資金取扱い要綱について審議し、委員会作業分担を確認した。
- ・最早期の参加登録費を一般 60,000 円、学生 35,000 円とし、参加者 2,000~2,500 名で予算案を作成した。
- ・資金獲得のため、現在、賛助団体募集のための趣意書を作成中であり、担当者を割り振って企業や団体への参加依頼を行う予定である。
- ・海外の学術団体に協賛・参加を要請中であり、現時点で中国から 3 団体、ベトナムから 1 団体の協賛を得ている。
- ・参加者を増やすために、横浜の知名度向上や、集客力のある企画アイデアが必要である。

2.9. TF1

「地球化学 現状と将来」に掲載する紹介記事について、年会以降に各研究機関の代表会員に依頼する予定である。

2.10. TF2

- ・年会において、TF セッション「地球化学を先導する研究計画検討会」を開催する。参加者には、各講演についてコメントを書いてもらい、提案のブラッシュアップに役立てることとする。
- ・年会後に、予算フレーム・規模などに応じて提案を募集し、第三者コミッティによって学会の科学的な見地からの評価を行うこととする。

2.11. TF3

「日本地球化学会 50 年後の夢ロードマップ」の原案について、年会で広く意見を募り、取りまとめを進めていく予定である。対象について、まずはコミュニティ向けに作成し、さらに一般向け(中学生、高校生)の版も作ってはどうかという意見があった。

2.12. 次回幹事会・評議員会予定

- ・2015 年第 1 回幹事会:2015 年 2 月
- ・2015 年第 1 回評議員会:2015 年 2 月

(庶務幹事・山岡香子)